

【市長と語る懇談会 記録】

開催日 平成 26 年 11 月 29 日（土）

地区 上野小学校区

会場 沼木地区コミュニティセンター

参加者数 23 人



《質問・意見》

少子高齢化・人口減少への対策として、企業誘致にどのように取り組んでいるのか。

《回答》【市長】

市有地として、神菌とサン・アリーナ横の土地、2箇所を企業誘致用に持っています。神菌については、オーダーメイド方式として、相談があった企業と話をさせていただきます。悩ましい問題ですが、一気に整地をしていつでも企業さんに来てもらうよう整地をしようとすると、3億～4億円の投資が必要となります。

朝熊については、3.11 のこともあって高台に移りたいという企業が多くあり、86～87% の分譲が済んでいます。全ての工場が稼働したときは150名程度の働く場所ができるということで準備を進めています。

そういった中で、三重県が持っている県有地も含めながら、企業に来てもらえる環境を作っていきたいと考えます。また、起業家の支援ということで、商工会議所と一緒に取り組んでいます。

《質問・意見》

高齢化と人口減少が進む中で、便利なところに施設を集約していこうという傾向だと思うが、この沼木という中山間地域についてどのように考えているのか。

《回答》【市長】

全国的にコンパクトシティの流れがあります。伊勢は地形的にも、現在地を基本として集落をまとめていくことが必要であると考えます。ただ、どこまでの範囲でやっていくのか議論が必要になってきます。

《質問・意見》

神菌の工業団地は、あわてて開発してもらわなくて良い。騒音・公害のある企業が来てもらうと困る。津波のことも考えて、住宅団地でも良いのではないか。

台風により県道が水没し孤立する。堤防のかさ上げ、ポンプ等設置の要望を出した。また、ダム放流を早くしてほしいと要望した。台風11号では早くしてもらったが、18号・19号では遅かった。小中学生にダムの社会見学をしてもらいたいのと、ダムの管理者に下流のことも考えてもらいたい。

《回答》【市長】

台風の時に水が浸かることは聞いています。ダムの管理者とは、最近は情報交換も行っていきます。

《質問・意見》

新しい病院は何床か。国の病床規制が平成28年度からあるのは知っているか。

《回答》【市長】

300床です。規制があることは知っています。

厚労省はもちろん、財務省も力を入れており、高齢化に伴い社会保障費が増えていく中で、医療費の圧縮をしていこうという流れが強くなっています。高齢社会に向けて、元気に暮らしていけるようにサポートしていくことが一番大事なことです。

伊勢の病院群は、伊勢日赤・伊勢病院・慶友病院などがありますが、大震災で津波が起こったときにどうなるか。救急医療を請け負っている病院で津波の影響を受けないのは伊勢病院だけです。伊勢日赤さんもかさ上げはしてもらっていますが、国道23号に瓦礫が押し寄せてきているという状況も想定されます。このような中で災害拠点病院という形も目指していく必要があります。来年、地域医療ビジョンを策定しますが、その中でも災害を踏まえた病院づくりをしていきたい。

《質問・意見》

もう国に届け出をして、病床数について問題ないという状況なのか。

《回答》【市長】

今は予算の関係で話を進めさせてもらっている状況で、総務省の市町村合併の特例債の関係などの下打ち合わせをさせてもらっています。

《質問・意見》

平成28年からの病床数の規制で、この地域は1,000ちょっとになるのではないかと思います。伊勢病院の300床が認可されるか心配している。

《回答》【市長】

確認して返事をします。

＜後日回答＞【担当部局 病院事務部新病院建設推進課】

今後、県が将来の医療提供体制に関する「地域医療構想」を策定する予定です。この構想を実現するための仕組みとして、病院の新規開設・増床への対応、稼働していない病床の削減の要請等について、県知事が講ずることができることとなります。

新病院基本計画における300床と医療機能の必要性について、県の関係機関へも説明をしてくれており、また、今後も十分協議をしながら実現に向けて取り組んでいきます。

《質問・意見》

ふるさと未来づくりで不安なことがある。スタッフの高齢化で新しい人材がいない。この地域には限界集落に近いところもあり、他の地域も近付きつつある。人口増が絶対的な条件になる。そうでないと活動しながら消滅してしまう。

どうしたら良いかという、Iターン・Uターンが必要である。でも働くところがない。企業がない。住みやすい沼木を目指しているが生活する術がない。伊勢市としてどのように考えて進めているのか。

《回答》【市長】

少子化対策について話をしますと、今年から来年度の予算編成に向けて子育て支援、結婚、出会いのところをサポートしていくよう準備を進めています。

少子化対策で成功した先進国の事例を見ても、合計特殊出生率は1.9から2の間となっていますが、どこまでたどり着けるかは、これからが正念場になります。いろいろと意見をお願いしたいと思います。

《質問・意見》

神宮奉納花火大会について聞きたい。今年は栈敷を買って見に行ったが、どこの花火かさっぱり聞こえなかった。マイクが悪いのか。それから、スターマインの高さが低いと煙で見えない。敷地が広いのだから2箇所打ち上げれば良いのではないかと。

また、外宮前から神宮会館まで路面電車を走らせてはどうかと思う。

《回答》【市長】

花火大会の煙については、気になっていました。場所をずらすことも参考に検討させていただきます。また、競技大会として作品の優劣をつけることにもこだわっています。今後はエンターテインメント性も考慮して、盛り上がるように検討していきたいと思っています。

《意見》

沼木バスがいつまでも続けられるよう、今後も協力をお願いしたい。

《質問・意見》

伊勢市というよりも伊勢志摩地域として、伊勢市が中心となってやっていかなければいけない地形・産業構造となっている。現在の道路網を考えると、今の市役所の位置は不便である。遷都ではないが、中心をずらすことはできないのか。将来の広域化を考えると、近隣の自治体と協力して整備を進めていかなければならない。

《回答》【市長】

近くのまちとまちが手を結んで公共財産などをシェアしようという流れがあり、伊勢市は鳥羽市・志摩市・明和町・玉城町・度会町・南伊勢町・大紀町の7つの自治体と定住自立圏構想の協定を結んだところです。

これまでも消防・ゴミなど一部事務組合として協力していましたが、もっといろんなところで協力できないか検討しています。沼木の自主運行バスもその事例のひとつです。

《質問・意見》

高齢者や障がい者の方が安心して住めるようにどのような施策をしているのか。また、災害が起こったときに避難所の体育館で障がい者や高齢者が過ごすのは大変である。心のケアもとても大変である。病気を持っている人を受け入れる施設もすごく少ないと聞いている。そのような施設の設置への働き方についても聞きたい。

《回答》【市長】

障がい者の方が安心して暮らしていくために、生まれてからお亡くなりになるまでフォローできる環境をきっちり構築していきたい。これまで中学・高校を出てからのサポートが弱かったですが、昨年度から、高校卒業後、就労支援を行う施設の誘致をしています。県の補助金も枠が決まっていることもあり、交渉している最中です。

災害時における障がい者の生活については、大きな課題であると考えています。3.11でも避難所に行くと迷惑がかかるということで壊れた家屋で生活を続けなければならない、避難所に食糧を取りに行くこともできなかったことがありました。このような環境をどのように解消していくのかについては、地域の方と議論をしていきたい。

また、地域の皆様をお願いしている避難困難者の支援のあり方ということで、高齢者の方などのサポートを行っていくための名簿を作っていますが、皆さんのおかげで出来上がってきました。誰がどうやって助けに行くのか。どういった施設が必要か。一つひとつ解消していきたい。

あと、薬事法のこともありますが、薬を誰がどのようにストックしていくのか。非常に大きな課題ですので、国とも交渉していきたい。

《質問・意見》

戸籍住民課が民間委託されるが、広報いせと議会だよりの金額が違うのはなぜか。

《回答》【環境生活部戸籍住民課長】

来年1月から民間委託が始まります。広報いせで記載されている金額は、委託業者に実際に支払う1月から3月までの委託料の金額を掲載させてもらいました。議会だよりは、委託に係る予算額を掲載しています。

《質問・意見》

新道の付近は商店街がシャッター街になっており、一部更地のところもある。老朽化により倒壊の恐れもあるため更地にしたと聞いた。どのように活性化して昔の賑わいを取り戻していくのか。

《回答》【市長】

中心市街地の外宮さんから伊勢市駅までは非常に元気になってきました。商店街をどうするかは大きな課題です。毎年のように、市役所も商店街の活性化のために予算を組んできましたが、なかなか抜本的に解決していません。

それぞれの事業主さんがどうやって次の世代まで仕事をやっていくか、そこにかかってくる。そこで、商店街さんがここまでやるからここからは行政さん頼みます、という議論を重ねていかなければ、解決にならないと思っています。

商店街の青年部の方々が新しく「伊勢やまだ大学」を始めました。また、市が商工会議所と組んでまちづくり会社を始めますが、少しでも商売ができる環境を整えていきたい。後継者がいるかどうかは鍵であると考えます。

《質問・意見》

商工会議所が空き店舗を貸しているが、安価で借りられようにしてほしい。

《回答》【市長】

そうですね。

今日はたくさんの意見をいただきました。できるだけ来年の予算に反映できるものは反映していきます。また、まちづくり協議会の制度についても、もう少し改善したほうが良いのでは、等の意見をいただければと思います。それぞれの地域から、まちづくり協議会の役員同士の交流場所を作ったらどうか、というお話を聞いています。今後、協議会の横のつながりも進めることができると考えています。